

○「オリーブ等地域特産で意見交換へ」

(京都府宮津市 由良地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

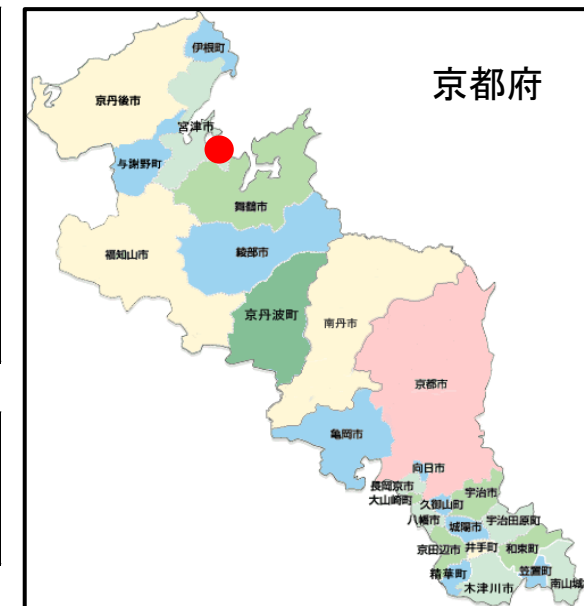
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月28日(木) 13:00～17:00
- 場 所: 宮津市由良集会所
- 出席者: 藤井会長、榊田推進委員、大銅局長
※委員3人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 東部生産組合(浜野路・港・石浦)によるほ場整備地区(95人)。トラクターを所有し貸出
- 由良東部農地管理協議会(30人)で中山間・多面的事業を実施／由良地区営農組合が乾燥機を所有し、受託組織となっている
- 上石浦では個人がオリーブを直売／下石浦では、みかん組(代表・藤本とくお氏)合があるが組織活動はなし



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 10年後の担い手がない。また、ほ場の再整備が必要なほか、地域内の組織のあり方・方向が明確でない
- 特産品を何にするのか
- 有害鳥獣対策は行政が積極ではない。防護柵設置や管理は自治会
- 荒廃みかん園をメッシュ柵を設置して栽培を復活させる予定(浜ノ路6人)
- 由良松寿会が駅の足湯管理をしており農産物直売所を運営
- オリーブを育てる会は、16人。駅裏を開墾して現在50本を植栽
- まずは特産等について話し合いをはじめてみる。7月23日に意見交換会

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |